

運輸系統の社員運用の変更開始で 職場の社員は泣いている！

運輸系統の社員運用の変更が実施されて4ヶ月が経過しました。すでに在来線では一部の職場で運用されています。

新幹線でも駅から車掌の研修が始まり、9月からは車掌から運転士への研修が始まります。

しかし、この人選を巡って職場では、「新制度にともない車掌や運転士に行くようになりました。イヤなら辞めて下さい」「駅に行くようになりました。イヤなら辞めて下さい」と『面談』と称して二者択一を迫っているのです。

適正検査に合格した全員が、一方的に乗務員へ行かされるのです。駅でがんばってやっていきたいと望むと「制度だから。イヤなら辞めてもらって結構です」と返事が返ってきます。その結果、社員が退職するという最悪の事態も発生しています。

はたして、本人の希望に添わなくていい仕事ができるでしょうか。イヤな仕事をさせられて安全が確保できるでしょうか。希望に満ちて入った会社にもかかわらず去らなければならない等、これが新制度の実態なのです。

今職場で悩み苦しんでいるのは、早々と提案を受結したユニオンや国労の組合員です。その皆さんからの悲痛な叫びが私たちJR東海労に寄せられています。私たちは決してあきらめず、ねばり強く社員運用変更反対のたたかいをすすめています。

これで本当に安全が確保できるのか！
中堅社員や年配の社員にまで二者択一を
迫り恫喝を行う現場管理者！
泣く泣く辞めていく若い社員たち！

今こそ私たちJR東海労と、働きやすい職場をつくるために
共にたたかきましょう！！